鳥取県の地震

２０２１年（令和３年）５月
鳥 取 地 方 気 象 台

目　　次

（１） 鳥取県とその周辺の地震活動
震央分布図及び断面図、概況 …… 1
震源リスト（M2.0 以上） …… 1
（２） 鳥取県内で震度１以上を観測した地震
震度のリスト …… 2
震度分布図 …… 2
（３） 地震・津波の知識
津波に関する情報等について …… 3

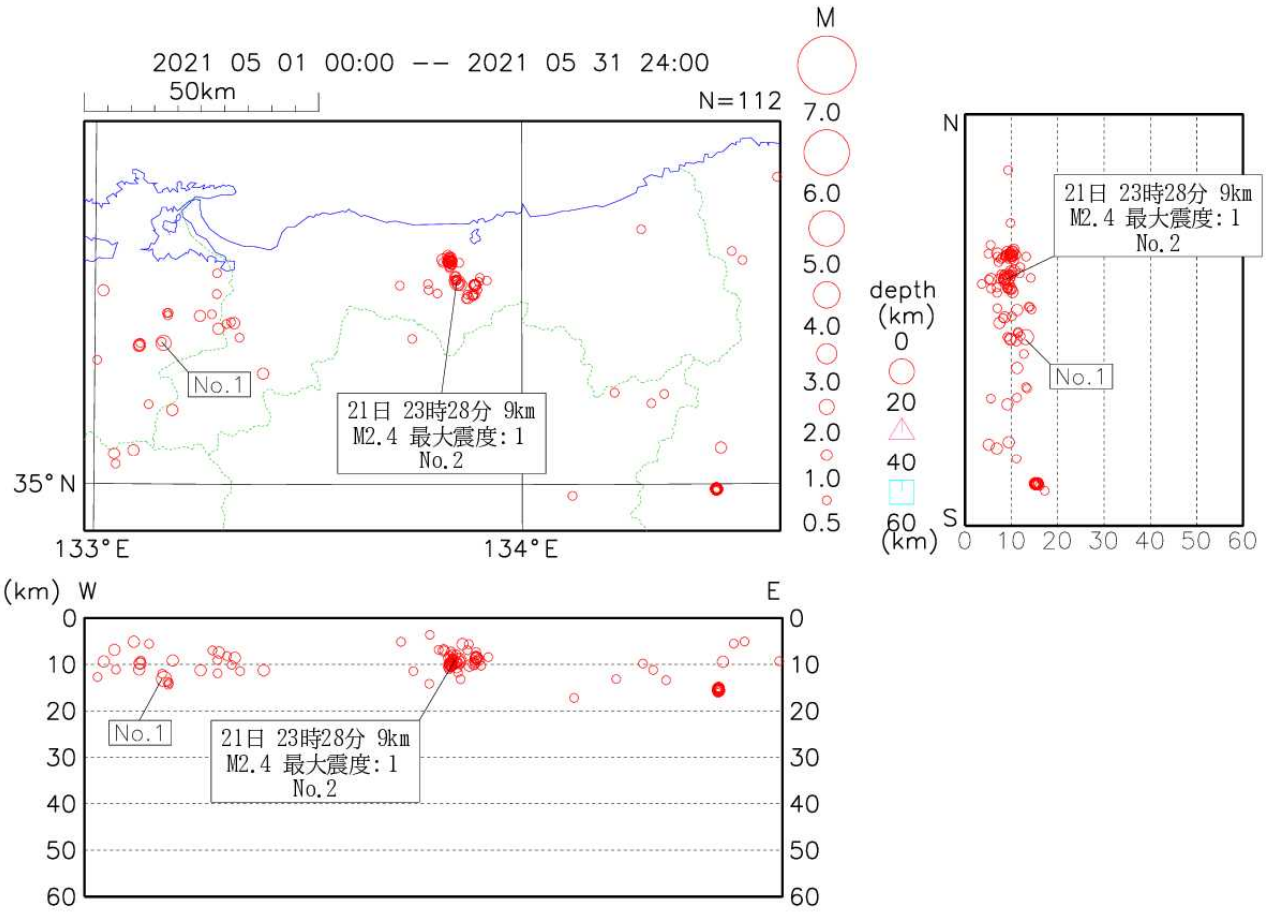
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

＊　広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図ＵＲＬ　https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html

（１）鳥取県とその周辺の地震活動

［震央分布図・断面図］



［概　況］

2021 年５月に鳥取県内の震度観測点で震度１以上を観測した地震は１回（先月は２回）でした。

21 日 23 時 28 分 鳥取県中部の地震（深さ 9km、M2.4）により、鳥取県倉吉市で震度１を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0 以上の地震は２回（前月は３回）でした（番号は震源リストに対応）。

［震源リスト（震央分布図内のM2.0 以上の震源リスト）］

期間　：2021 年５月１日 00 時 00 分～2021 年５月 31 日 24 時 00 分

緯度　：34° 55’～35° 45’ N　　経度　：133° 00’～134° 40’ E

深さ　：0 km～60 km

No.	発震時（年 月 日 時 分）	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニチュード	最大震度
1	2021 年 05 月 17 日 13 時 44 分	島根県東部	35° 16.3’N	133° 9.6’E	13	2.2	－
2	2021 年 05 月 21 日 23 時 28 分	鳥取県中部	35° 23.3’N	133° 50.9’E	9	2.4	1

（２）鳥取県内で震度１以上を観測した地震

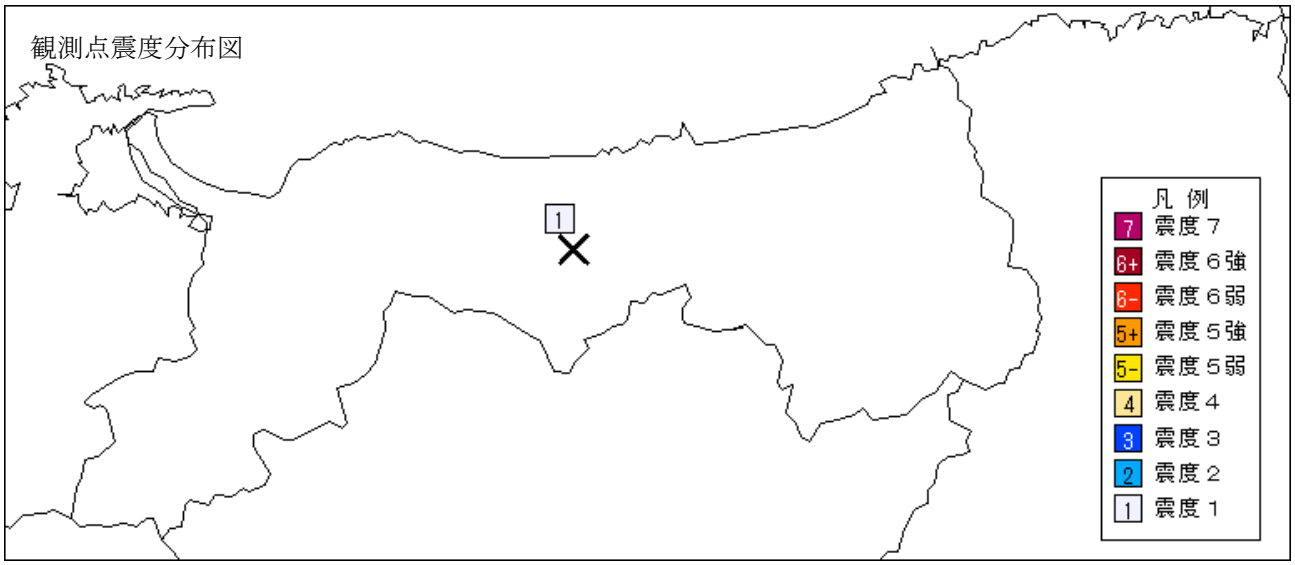
［鳥取県内で震度１以上を観測した地震及び震度のリスト］

発震時（年 月 日 時 分） マグニチュード	震央地名	北緯	東経	深さ
2021 年 05 月 21 日 23 時 28 分 M2.4	鳥取県中部	35゜23.3’N	133゜50.9’E	9km
---------- 地点震度 ---------- 鳥取県　震度　１：倉吉市葵町＊				

＊印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

［鳥取県内で震度１以上を観測した地震の震度分布図（図中×は震央）］

2021 年 05 月 21 日 23 時 28 分　鳥取県中部



（３）地震・津波の知識

津波に関する情報等について

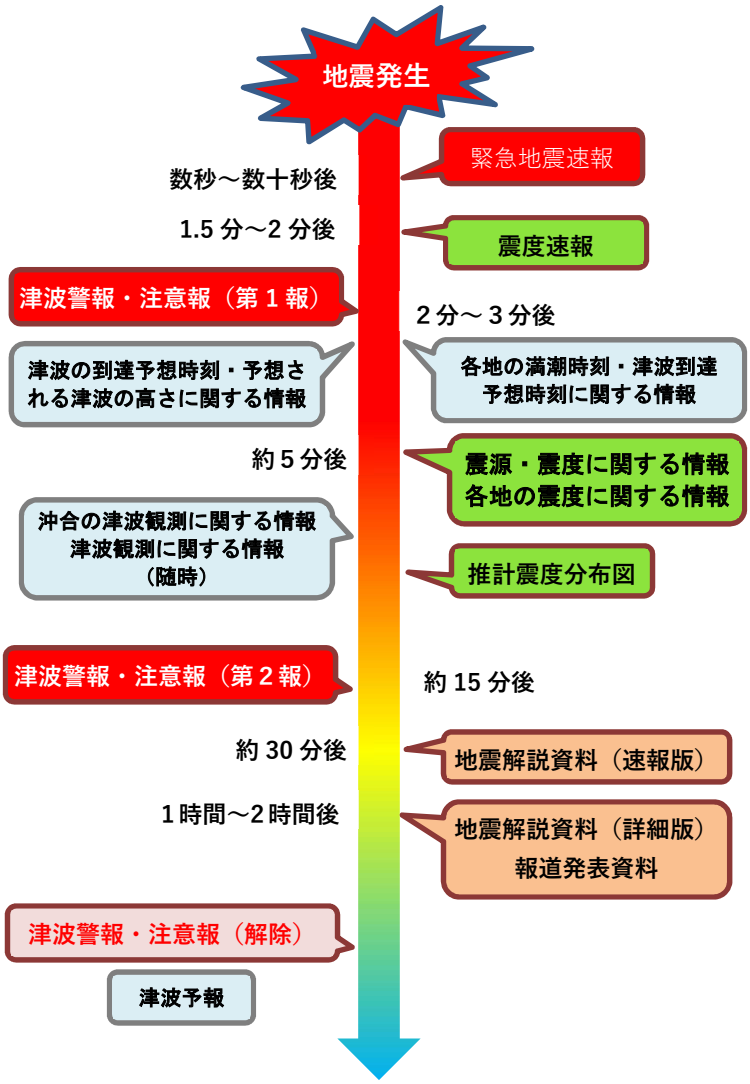
気象庁では海域で大きな規模の地震が発生し、日本の沿岸部に被害が生じる恐れがある場合に津波警報等の発表を行いますが、その発表とほぼ同時に、２種類の津波に関する情報を発表しています。それは「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報」と「各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報」です。

「**津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報**」は、津波の襲来が予想される**津波予報区**内（「鳥取県」では県内の海岸線全域）のどこかで最も早く津波が到達する時刻と、最終的に最大となる津波の高さをお知らせするものです。必ずしも予報区内で最初に到達する場所と最大の波が到達する場所が一致するとは限りませんし、最大の波が予想時刻に到達するわけでもありません。

「**各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報**」は、津波警報等を発表した津波予報区内にある**潮位を観測している地点**（いわゆる検潮所）における、津波発生以後の最初の満潮時刻と津波の到達予想時刻をお知らせする情報です。鳥取県内では境港市の境漁港（観測点名は「境港市境」）と岩美町の田後漁港（観測点名は「岩美町田後」）について情報を発表します。

国土交通省が設置した GPS 波浪計や東日本大震災以後に開発された海底津波計が、太平洋の沖合を中心に数多く設置されており、これらが捉えた波形データをもとに「**沖合の津波観測に関する情報**」を発表しています。これは津波を観測した時刻と高さ、およびその情報を基に推定される近隣の津波予報区へ津波が到達する予想時刻と高さを知らせる情報です。なお、日本海の沖合には津波観測点が東北地方にしかなく、鳥取県に対してこの情報が発表されることはありません。

そして、ついに津波が日本の沿岸に到達した際には、検潮所等の津波観測施設における最初の波



図：津波地震情報などの発表タイミング

の観測時刻とその津波の押し引き*、そして観測された最大の高さを「**津波観測に関する情報**」として発表します。これは津波を観測した地点が増えたり最大の高さが更新されるたびに、繰り返し発表を行います。この情報を発表する際、津波警報等を発表している予報区内にある津波観測点でとらえた津波の高さが一定の基準より低く、今後さらに高い津波の到来が予測される場合には、観測された高さをそのまま使用せず「観測中」と発表します。これは最初に報じられた低い津波の高さが安心情報として伝わり、津波に対する警戒心が低下するのを防ぐための措置です。

最後に、地震によって津波は発生するものの津波による被害が生じないと判断される場合、もしくは津波による被害の恐れがなくなり津波警報等を解除したのちも弱い波（海面変動）が残る場合には**津波予報**を発表します。被害が生じないと予想される津波の場合は地震情報に合わせて津波予報の発表を行っています。

情報でお知らせする津波の到達予想時刻や高さはあくまで目安です。海岸の地形や沖合の海底地形によって、津波の進路や高さは大きく変化します。海岸付近の皆さんは津波警報等を見聞きしたら直ちに高台へ避難し、防災に携わる方々も安全に避難できる時間的余裕を取って防災・減災対応に当たっていただきますようお願いします。

＊注：最初の津波（第１波）がその時点の海面よりも高く到達した場合、波が海岸へ押し寄せてくるように見えることから「押し波」、低く到達した場合は海が浜辺から引き下がっていくように見えることから「引き波」と表現します。

（参考）
・気象庁：津波警報・注意報、津波情報、津波予報について
https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html
・国土地理院：重ねるハザードマップ（地理院地図上で津波の浸水想定や避難所などを確認できます）
https://disaportal.gsi.go.jp/index.html

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和３年５月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

ＵＲＬ　https://www.data.jma.go.jp/tottori/bosai/jishin/jishin.html

出前講座問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：０８５７－２９－１３１３